

# リリースノート GBIC-LX/LX2/SX



このたびはGBIC-LX/LX2/SXをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このリリースノートには、GBICモジュールの取り付け方法や使用上の注意事項が書かれています。よくお読みになり、正しくご使用ください。なお、GBICを装着する機器（スイッチ等）固有の注意事項に関しては、各機器付属のマニュアルやリリースノートをご参照ください。



## 光ファイバーケーブル・コネクタを直視しない

光ファイバーケーブルの端面やコネクタ、機器側のコネクタなどを目で直視しないでください。

強い光を通してしている場合、目に障害が発生する恐れがあります。

## 1 GBICモジュールの種類

GBICモジュールには、LX/LX2/SXの3種類があります。それぞれ対応するケーブルが異なりますのでご注意ください（次ページの「2. 光ファイバーケーブル仕様」を参照）。

また、GBIC-SXには新旧2つのリビジョン（Rev AとRev B）があります。どちらも機能的には同じですが、装着する機器やファームウェアのバージョンによってはGBIC-SXのリビジョンが意味を持つ場合もありますので、各機器付属のドキュメントでご確認のうえご使用ください。

### GBICモジュールの見分け方

SXとLX2の識別は、モジュール上面のラベルに記載されているシリアル番号(S/N)の先頭6桁で行います。SXのリビジョンは、同ラベルのRevで確認します。



## 2 光ファイバーケーブル仕様

GBIC各モデルに対応した光ファイバーケーブルの仕様は下記のとおりです。仕様に適合したケーブルをご使用ください。GBIC-LXは、表のグレー部分で示すSMF（シングルモードファイバー）にのみ対応しておりますのでご注意ください。

規格	1000BASE-SX				1000BASE-LX		
波長(nm)	850				1300		1310
ファイバー種類	MMF				MMF		SMF
コア径(μm)	50		62.5		50	62.5	10
伝送損失(dB/km)	3.5		3.75		1.5	1.5	0.5
伝送帯域(MHz・km)	400	500	160	200	400 or 500	500	N/A
伝送距離(m)	2~500	2~550	2~220	2~275	2~550	2~550	2~5000*
GBICモジュール	GBIC-SX(Rev A/B)				GBIC-LX2		

\* IEEE 802.3z clause 38.11の規格をすべて満たした接続条件下では、10000mまで延長可能。

## 3 GBICモジュールの取り付け・取り外し

GBICモジュールはホットスワップル（電源オンの状態で抜き差しが可能）ですが、コネクタ口からレーザー光が出ているため、電源をオフにして作業することをおすすめします。また、取り付け・取り外しの際は、GBICモジュールからネットワークケーブルを抜いて作業してください。

### 取り付け

GBICモジュールの側面を親指と人差し指などではさむように持ち、GBICスロットに静かに挿入します。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。モジュールに針金状のフックが付いている場合は、挿入後にフックを押し下げ、しっかりと固定してください。

### 取り外し

GBICモジュールの両側面にある突起部（下図参照）を親指と人差し指ではさむように持ち、GBICスロットからゆっくりと引き抜きます。針金状のフックが付いているタイプの場合は、フックを持ち上げてからフックを持って引き抜きます。

